

### 人のつながりを大切に

社協に入ってから37年間、「住民にとって身近で信頼される社協」を目指して活動してきました。困っている人の声に耳を傾け、地域の皆さんと力を合わせて取り組むことが、福祉課題の解決につながると思います。

大切にしているのは、人と人との輪づくりと信頼関係。これまでも、福祉教育活動をはじめ、商店街と連携した福祉イベントや災害ボランティアなどの活動を通して、多くの人とのつながりをいただきました。

この3月で定年退職となりますが、退職後は、ボランティアの一員として、地域と社協とをつなぐ役割を担い、みんなが住み良いまちを創っていきたくです。

### ひつじとし 未年のみなさん、 頑張りましょう！

僕の性格は、人を喜ばせることが好きです。ちょっと抜けたところもあります。

休みの日は、少年野球のコーチなどをしています。

趣味は、ゴルフとスニーカーの収集と野球です。

好きなタイプの女性は、いっしょにいて面白い人で、常識のある人ですね。

結婚は、20代のうちにはしたいですね。

夢は、いっぱいありますが、今は仕事で一人前になることです。

尊敬する人は、家族と友人です。友人にはいろんなことで、パワーをもらっています。

今年は、年男なので気を引き締めて頑張ります。



▶次号は、下田の内方侑奈さん  
にバトンタッチです

きらり！小浜人 Obama Star

とよなが しんせい  
小浜市社会福祉協議会 事務局長 豊永 真誠 さん (60 歳・高塚)



### サッカー文化を定着させたい

サッカーの魅力は、ゴールを決めた喜びや、負けた悔しさを、チームの仲間と分かち合えるところです。

協会では、小学生から参加できる地域のクラブチーム「アルタス若狭小浜FC」を運営して、上を目指す子どもたちを育てています。女子チームの「ヴェガール」には、小浜はもちろん県外からも参加者がいます。

経験のない子でも気軽に参加できる「ジュニアサッカー学校」も開催しているので、女の子にもぜひチャレンジしてほしいです。

4月から理事長をさせていただくので、フットサルの普及など、誰でも競技に親しめる環境を作り、サッカー文化を定着させたいですね。

### イチ押し！トップアスリート Top Athlete

やぶもと あつし  
小浜市サッカー協会 副理事長 藪本 敦史 さん (48 歳・清滝)

### 能楽文化を次世代へ

謡曲連合会には、「<sup>おうらくかい</sup>謳楽会」「<sup>らくようかい</sup>楽謡会」「<sup>しろうかい</sup>志謡会」「<sup>しらたまかい</sup>志楽玉会」「<sup>くらざ</sup>倉座」の5団体30人が所属して活動しています。

謡曲とは、能の物語に節を付けて謡うことです。世阿弥ゆかりの地であり、江戸時代酒井家の保護もあったことから、若狭地方は能楽文化がとても盛んな土地です。昔は地域とも密接につながり、集落の祝い事や酒事などで、五穀<sup>ごこく</sup>豊穰や家内安全を祈願して、「<sup>つるかめ</sup>鶴亀」や「<sup>たかさご</sup>高砂」が謡われていました。現在は、その数も減り、習い事として個人が親しむのが中心となっています。

今後は、中学生の体験教室などを開催して、若い世代へ文化を継承していきたいですね。

謡曲を習いたい人は、会長の野村さん ☎ 52-0970 まで



謡曲連合会の皆さん(夏の謡を楽しむ会にて)